

環境通信



vol.31 2020.11.1 発行





わたしは
どこへ…

海を汚さない、 わたしたちの選択とは

「海のない市」でも、関心を持ってほしい

世界中で問題となっている海洋プラスチックの問題。海岸を埋め尽くすプラスチックごみは、どこか遠い国の問題で、自分に関係ないと思っていませんか？波や紫外線の影響で5mm以下になったプラスチックの粒（マイクロプラスチック）は、生態系に深刻な影響を及ぼす可能性がある指摘されています。

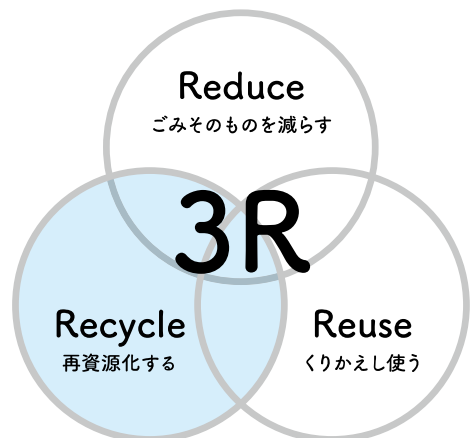
あなたが今日、目にした道端のごみも、雨に流され川に入り、海にたどり着いて半永久的に分解されることなく残ってしまうかもしれません。

ごみが資源へと生まれ変わって、くりかえし使用され、輪のようにまわっていく社会を「循環型社会」といいます。循環型社会を目指す上で欠かせないのが3Rというキーワード。ものを作り流通させる側、それを購入して消費する側、国・市町村など、その仕組みをととのえる側、さまざまな立場から3Rを意識した取り組みが行われています。

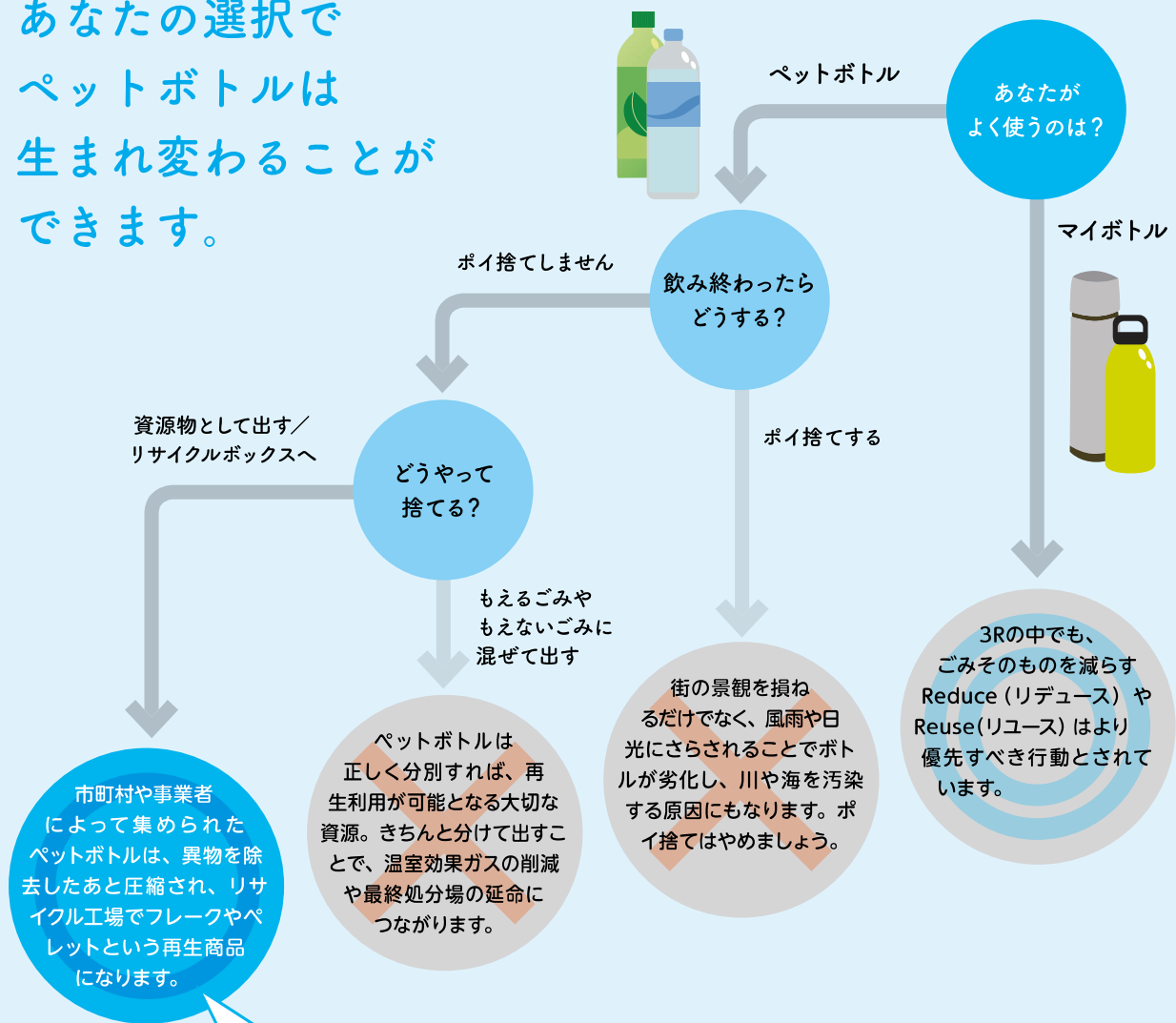


「3R」ってなに？

ごみの発生抑制を表す「Reduce（リデュース）」、使えるものを繰り返して使用する「Reuse（リユース）」、再資源化を表す「Recycle（リサイクル）」、これら3つの単語の頭文字をとって「3R（スリーアール）」と呼んでいます。マイバッグを持参したり、食べ残しを減らして生ごみの減量化に努めたりすることはリデュース、レンタルやシェアリングを活用したり、不用品の交換などを行ったりはリユース、それらを行ったうえで、なお不要となったものを再度資源として活用（リサイクル）する。これらの行動により、最終的に処分すべき廃棄物を減らすことができます。

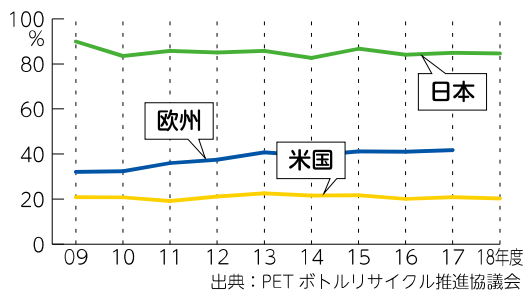


あなたの選択で
ペットボトルは
生まれ変わることができます。



日本ではどれくらいのペットボトルがリサイクルされているの？

日本で販売されたペットボトルのうち、およそ85%がリサイクルされています。これは、アメリカ・ヨーロッパと比較しても高い水準のリサイクル率です。



集められたペットボトルはこのあとどうなるの？

新しいペットボトルに生まれ変わったり、身の回りのさまざまな製品へと生まれ変わったりしています！



リサイクルについて
もっと詳しく学びたい！

PETボトルリサイクル推進協議会
The Council for PET Bottle Recycling
<http://www.petbottle-rec.jp/>



公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会
The Japan Containers and Packaging Recycling Association
<https://www.jcpra.or.jp/>



＼はじめよう／

食品ロスを減らす、 新しいライフスタイル

食品ロスとは「まだ食べられるのに捨てられてしまう食品」のこと。
現在、市では「さいたま市食品ロス削減プロジェクト」を推進、食品ロスが発生する要因それぞれに対応した施策を展開。市民の皆様と一緒に食品ロス削減に取り組んでいます。

市内では、「お米の収穫量の約2倍」の食品ロスが発生

さいたま市では、年間約14,000トンの食品ロスが発生しています。これは、市内で1年間に収穫されるお米(水稲)7,370トンの約2倍。そのうち60%は、未開封で手つかずのまま捨てられてしまった食品でした。

こんなにたくさんの食品ロス、とても減らせない…と思うかもしれませんが、市民1人1日あたりに換算すると、約30グラム。お寿司一貫分くらいの重さです。

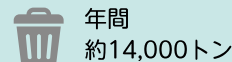
私たちひとりひとりが少しずつライフスタイルを見直すことで、食品ロスを限りなくゼロに近づけることができます。

市内のお米の
収穫量



出典:平成28-29年関東農林水産統計年報
※ 水稲の年間収穫量(平成28年)

市内の食品ロス
発生量



およそ
2倍

※ 家庭系ごみの組成調査に基づき推計

さいたま市が進める食品ロス削減プロジェクト



Saitama Sunday Soup (日曜日は食べつくスープ!)

「おいしく減らす、食品ロス」をコンセプトに、余った食材は、日曜日の夜にスープにして食べつくそう。新しいライフスタイルとして提案しています。

<https://www.city.saitama.jp/001/006/006/p064205.html>



チーム Eat All

食品ロスの削減に取り組む事業者と協働して、皆様と市がつくるチームです。一人ひとりの意識を高め、「みんなで・ぜんぶおいしく食べきって食品ロスを出さない社会」をつくりましょう!

<https://www.city.saitama.jp/001/006/012/003/index.html>



食べられるのに捨てられる食品を必要な人へ届ける

フードドライブ

「フードドライブ」とは、家庭で余っている食品を回収し、福祉施設等に寄付する活動のことです。さいたま市では食品ロスを削減するため、市民の皆様から食品をお預かりし、「特定非営利活動法人フードバンク埼玉」を通じて地域の福祉施設などに寄付しています。食品は必要な分だけ購入し、余ったものは「食べつくスープ」にするなどして家庭でおいしく食べきっていただくのが一番ですが、どうしても使いきれない場合は、ぜひフードドライブへ！



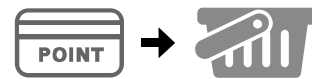
対象食品

- (1) 賞味期限が明記され、2か月以上あるもの
- (2) 常温で保存可能なもの(生鮮食品、冷凍食品は対象外)
- (3) 未開封であるもの
- (4) 破損で中身が出ていないもの

※ダイエー、グルメシティ、イオンフードスタイルは上記の条件に加え、「(5)製造者又は販売者表示があるもの」「(6)成分またはアレルギー表示があるもの」を満たす食品が対象

品目例：穀類(麺類、小麦等)、保存食品(缶詰、瓶詰等)、インスタント食品・レトルト食品・ギフトパック(お歳暮、お中元等)、調味料各種・食用油、乾物(ふりかけ、お茶漬け、のり等)

貯めたポイントでお買い物！



フードシェア・マイレージ

ご家庭で余った食品を、「アーバンデザインセンターみその(緑区)」、「岩槻菓紗里 藤宮 本町店(岩槻区)」に持ち込むと、地域商店などで使える「たまぼんポイント」がもらえます。余った食品を持ち込むだけで、ポイントがもらえ、ついでに食品ロス削減に貢献できる取り組みです。

フードドライブ受付窓口の情報は Web サイトからご確認いただけます。

施設ごとに受付時間・休業日等が異なりますので、ホームページで各施設の情報をご確認ください。

● フードシェア・マイレージ実施窓口



さいたま市役所本庁舎7階 資源循環政策課	北区役所2階 総務課	大宮南部浄化センター (みめま見聞館)	桜環境センター 環境啓発施設(2階)
アーバンデザインセンター みその	岩槻菓紗里 藤宮 本町店	コーププラザ浦和 (組合員以外も利用可能)	コーププラザ大宮 (組合員以外も利用可能)
コープ浦和東店	コープ武蔵浦和店	ダイエー大宮店	ダイエー西浦和店
ダイエー南浦和東口店	グルメシティ浦和道場店	グルメシティ南浦和店	イオンフードスタイル 東浦和店

あしたのために できることから、ひとつずつ。

創業文化五年(1808年) 株式会社 小山本家酒造

株式会社 小山本家酒造

現さいたま市西区指扇で文化5年(1808年)に創業した老舗で、清酒の出荷量全国4位、東日本では1位を誇る株式会社小山本家酒造。売上の一部をNPO基金「みどりと川の再生」に寄付するなど、長年にわたり地域との関わりを大切にしてきました。資源やエネルギーの削減を重要な課題として位置づけ、平成25年から「さいちゃんの3Rパートナーシップ宣言」を実施、環境に対する意識の高まりと、改善の積み重ねの中で、2019年9月にはFSSC認証を取得しています。ごみの減量と環境に対する取り組みについて、話を伺いました。



酒パックから再生されたノベルティ製品(貯金箱)

酒造りに欠かせない「米」そして「水」……無駄にしないために

社会全体で取り組むべき課題だとされる「食品ロス」。日本ではその約半分が家庭から出されているものと言われていますが、その食品を「生産・加工」し、「流通」させる過程でも、規格外品の発生やパッケージの変更、売れ残りや返品といった要因でロスが発生しています。これは単に、食品が無駄になるだけでなく、本来使わずに済んだはずの水資源や輸送コストも無駄になっているということ。環境への負荷もさることながら、経済活動自体の損失にもつながっています。

清酒出荷量で全国4位という会社の規模からすると、食品廃棄物の発生量も少なくないはず。食品残渣のリサイクル状況について聞いてみると、「酒の原料となる米は、無駄になるところがないんです。」という意外な答えが返ってきました。「精米後の米ぬかや、醸造の過程から出る酒かすといった副産物は売却され、ロス製品も再度生まれ変わるようなルートにのせています。とはいえ、機械を洗浄する際に出る原料残渣については、今後の課題だと考えています。」と、いかに原料のロスをなくすか、日々研究を重ねている様子がうかがえました。

現在住宅が立ち並んでいる会社敷地周辺も、かつては緑に囲まれた土地だったのだそう。「この場所から出る水でないと出せない味がある、だから場所を変えるわけにはいかない」という言葉からは、酒作りの根幹ともいえる「水」を大切にしたいという強い思いが伝わってきました。

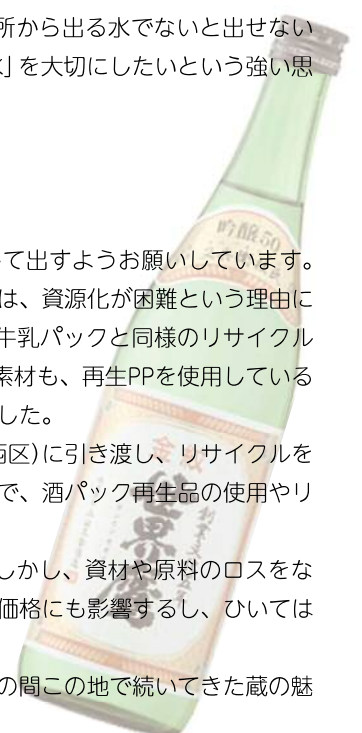
地域全体、業界全体で資源の有効活用を

現在さいたま市では、牛乳パックなどの紙パックは、中を洗って開いて乾かして、資源物2類として出すようお願いしています。しかしながら、酒パックをはじめとした内部にアルミのコーティングがなされているものについては、資源化が困難という理由により、もえるごみとして出してもらっています。小山本家酒造では4製品をアルミ不使用、つまり牛乳パックと同様のリサイクルができるようにしたのだそうです。「今後はさらに、アルミに代えて中をコーティングしているPP素材も、再生PPを使用している資材に変更できないか検討しているところです。」とさらなる改善に向けて抱負を語ってくださいました。

製造の過程で発生してしまうロス製品の紙パックは、現在、市内の障害者支援施設(杉の子学園・西区)に引き渡し、リサイクルを行っているとのこと。「酒パックリサイクル促進協議会」の会員でもある小山本家酒造は、業界全体で、酒パック再生品の使用やリサイクルシステムの構築に取り組んでいます。

「事業活動と環境活動を両立させていくことは、たしかに大変ですし、難しいことではあります。しかし、資材や原料のロスをなくすことは、環境に良いというだけでなく、最終的にはコストの削減にもつながっていく。商品の価格にも影響するし、ひいては企業価値を高めることにもつながることだと考えています。」

自社のみならず、業界全体を巻き込んで資源の有効活用に取り組もうとする姿勢に、200年以上もの間この地で続いてきた蔵の魅力が見えたような気がしました。





「ともに取り組み、参加する めぐるまち(循環型都市) “さいたま”の創造」の実現を目指し、3Rの推進に取り組む「3Rパートナーシップ宣言」団体をご紹介します。



ペットボトルのいわば“赤ちゃん”プリフォーム。回収されたペットボトルはまたペットボトルとして生まれ変わっている。

Recycle Plaza JB

リサイクル・プラザ JB

リサイクル・プラザ JB

(株式会社ジャパンビバレッジエコロジー)



総合食品飲料オペレーター業界のリーディングカンパニーであるジャパンビバレッジグループ。グループ全体の環境戦略の推進、飲料容器の再生処理、加工品の販売といった事業を展開しているのが株式会社ジャパンビバレッジエコロジーです。

今回訪問したのは、さいたま市北区にある「リサイクル・プラザJB」。自動販売機横に設置された「リサイクル・ボックス」の中のびん・缶・ペットボトルが、日々ここでリサイクルされています。工場見学の受け入れにも積極的で、環境学習室では独自の研修プログラムを展開、出前講座や作文コンクールも開催するなど、環境教育の場を提供し続けています。

将来、3Rが“当たり前”になってほしい

3Rと直結した事業を行い循環型社会の構築を目指すジャパンビバレッジエコロジー。「ともに取り組み、参加する めぐるまち(循環型都市) さいたまの創造の実現」という言葉に賛同し、平成23年から宣言を続けています。

「裏紙の使用を積極的に行うなど、事務所内で実践されていることはありますか?」というこちらの問いに対しても、「今は裏紙も使わないように、考え方を転換しています。」という回答。ペーパーレス化により印刷代の大幅な削減も図っているとのことで、経営と一体となつてごみの削減に取り組んでいる様子が伝わってきました。また、ISO14001の認証を全グループで取得し、さらに独自で「ISO委員会」を設置して定期的にミーティングを開催、ごみの分別や照明の消灯を「ISOパトロール」で確認するなど、地道な取り組みが日々重ねられています。「5年後10年後を見据えて、事業をやっている」という言葉が大変印象的でした。

自動販売機の横に設置してある箱は「ごみ箱」ではない

飲料空容器のリサイクルを行う上で、一番の障壁になっていることは、ずばり「異物」。回収されたもののうち10%は、飲料空容器ではないもので占められているのだそう。異物は機械分別が困難なため、すべて手作業で除去されますが、異物の混入さえなければ分別作業は不要。リサイクルの効率もはるかに良くなりますが、蛍光灯や乾電池、中にはテレビのリモコン(!)といったものまで混入していることも。ポイ捨てるのは^{はばか}はばか、でもここならば…という人間の心理がそうさせているのかもしれませんが、自動販売機の横に設置されている箱は「ごみ箱」ではなく「リサイクル・ボックス」。今、私たちのマナーが問われています。



リサイクル・ボックスの中に投入されていたさまざまな異物(左)



缶の中に入れられていたタバコ。高温で熱しても、フィルターだけは残ってしまい、製品(ペレット)の純度を下げる原因になってしまう。(右)

ペットボトルは、再生可能な「資源」

海外への廃プラスチックの輸出規制、プラスチックによる海洋汚染問題などで、昨今話題に上がることも多い「プラスチック問題」。リサイクル・プラザJBで選別され出荷されたペットボトルは、全量が新たなペットボトル(プリフォーム: ペットボトルの原型)に再生されています。正しく分別すれば、資源となるペットボトル。今こそ、消費者として、ペットボトルとのつき合い方を考え直してみるとときかもしれません。



これはもえるごみ？
それとも資源物？



ごみの出し方の
マニュアル、どこに
あったっけ？

引っ越してきた
ばかりで、よく
わからない！

週1回のもえない
ごみの日なのに、いつも
出し忘れちゃう…

12万ダウンロード突破！ ごみ分別アプリ

ごみを捨てる時、困ってしまった経験はありませんか？

そんなお悩みは、スマートフォンやタブレット端末があれば「ごみ分別アプリ」で解決できます！

アプリをご利用いただくと、1,800種類以上の品目の中から分別方法を検索できます。

また、収集日をプッシュ通知でお知らせしますので、出し忘れがありません。

その他にも役立つ情報がたくさん載った便利なアプリです。

無料でダウンロードできますので、ぜひご利用ください。

主な機能



ごみ分別辞典

1,800種類以上の品目の中から、分別方法を検索できます。



アラート機能

収集日をプッシュ通知でお知らせします。



ごみの出し方

粗大ごみなどの出し方を詳しく確認できます。



収集日カレンダー

収集日を週ごと、月ごとにひと目で確認できます。

iOS(日本語版)



Android(日本語版)



外国語版ごみ分別アプリも配信しています。

Saitama City Garbage Separation App
埼玉県垃圾分类App

사이타마시 쓰레기 분리 앱

Cidade de Saitama Aplicativo de classificação de lixo

Ứng dụng phân loại rác thành phố Saitama

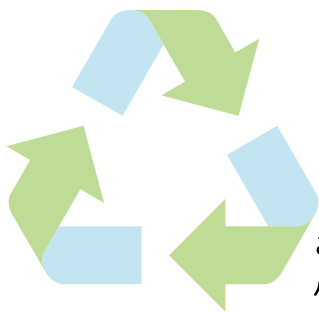
Supported language : English · 中文 · 한국 · Português · Việt

iOS(Multilingual)



Android(Multilingual)

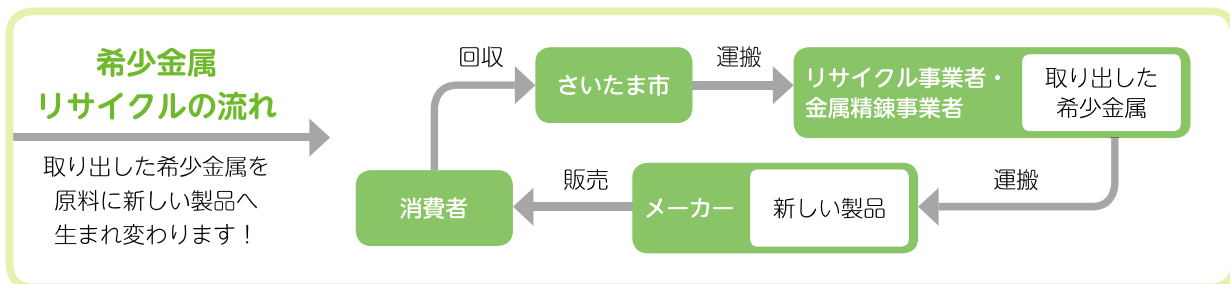




ちょっと
待った!

その小型家電、 回収できます!

ご家庭で不用となった小型家電等を、以下の方法で回収しています。回収した小型家電等から取り出した希少金属は、貴重な資源として有効に活用されます!



小型家電回収ボックスへの持ち込み

回収品目

- ①30cm×15cmの投入口から入る小型家電
(携帯電話、ノートパソコン、デジタルカメラなど)
- ②アダプタなどの付属品
(リモコン、ACアダプタなど)
- ③電池(充電電池・ボタン電池)

※設置施設など詳細は、市のホームページまたは「家庭ごみの出し方マニュアル」をご覧ください。



電池投入口
10cm×5cm

小型家電投入口
30cm×15cm

ボックスに入らない場合

環境センターへの 持ち込み

回収品目

携帯電話、パソコンなどの 特定対象品目

※品目の詳細は、市のホームページをご覧ください。大きさの制限はありません。

- 西部環境センター(西区宝来52-1)
- クリーンセンター大崎(緑区大崎317)
- 桜環境センター(桜区新開4-2-1)

回収場所

※小型家電の東部環境センターへの直接搬入は、令和2年3月21日をもって終了しました。

ボックスに入らない場合

宅配回収(有料)

国の認定事業者である「リネットジャパンリサイクル(株)」が宅配回収を実施しています。

回収品目

家電製品400品目以上

※テレビ、エアコン、洗濯機・衣類乾燥機、冷蔵庫・冷凍庫を除く

回収方法

リネットジャパンリサイクル(株)のホームページもしくは電話から申し込むと、宅配業者がご自宅まで回収に伺います(1箱1,500円)。

※詳しくは<https://www.renet.jp/>をご確認ください。

さいたま市小型家電回収についての詳細はこちらをご覧ください。
<https://www.city.saitama.jp/001/006/010/007/p030904.html>



一人ひとりが
しあわせを実感できるまち

さいたまの 未来のために



SDGsって？

「誰一人取り残さない(leave no one behind)」

2015年9月、ニューヨークの国連本部で開かれた持続可能な開発サミットにおいて、貧困やエネルギー、経済成長や不平等といった、世界共通の17項目の目標(=持続可能な開発目標、Sustainable Development Goals)が採択されました。2030年までを達成時限としており、2020年の今年、SDGs達成のための「行動の10年(Decade of Action)」が始まった年と言えます。



わたしたちの住む街の未来のために。いま、できること。



電気を節約

テレビの消費電力は、電化製品の中でも多い部類に入ります。見ていないときにはこまめに消しましょう。主電源を落とすことで、待機電力も減らせます。部屋の明かりも、照明の数を減らしたり、明るさを調節したりして、必要最低限の使用を心がけましょう。エアコンも、フィルターを定期的に清掃することで、節電につながります。



水を節約

歯磨きのときはコップを使い、洗顔や食器洗いのときは洗い桶を用いて溜め洗い、シャワーも短時間で使うようにしましょう。お風呂の残り湯は、お洗濯の「洗い」の工程で使えます。残り湯に含まれる皮脂汚れは洗濯物の汚れに比べて大変微量で、洗剤で分解されてしまいます。



出かけるときは マイボトル・マイバッグを

レジ袋もペットボトルも原材料は原油。レジ袋の利用を断ることで、ごみを減らすだけでなく貴重な天然資源を節約することができます。

また、ペットボトルの使用量は今も増え続けています。各自治体でリサイクルの取り組みが行われていますが、私たちがマイボトルを持ち歩けば、リサイクルの過程で生じる環境負荷を減らせます。

マイボトル・マイバッグを持ち歩くことで、エコでサステイナブルな生活を目指しましょう。



食品ロスは おいしく減らす

「まだ食べられるのに捨てられてしまう食品」を減らすことも、環境を守る取り組みの一つです。食べきれぬ量を購入し、それでも余った食材は、スープなどにしておいしく食べきりましょう。

また、旬の野菜を選ぶこともエコな選択だということを知っていましたか？旬の野菜は、自然の栽培サイクルに合っており、生産に余分なエネルギーがかからず省エネです。さいたま市で作られている季節の野菜や果物を調べてみることも、賢い消費行動への第一歩です。

「新しい生活様式」を踏まえて 環境への取り組みはどう変わる？

分別を徹底することが、市全体の収集体制の維持につながります

鼻水や唾液が付着したマスクやティッシュ、割りばしや爪楊枝、飲み残しの入ったペットボトル、おむつや生理用品等、感染リスクが高いものが、資源物1類(びん・かん・ペットボトル・食品包装プラスチック)に混入していませんか？

これらのものが混入してしまうと、資源化する過程で手選別作業を行っている作業員の感染リスクが高まります。作業員が感染することで、資源物の中間処理業務の稼働が停止し、市全体の収集体制にも大幅な影響を及ぼします。

感染の恐れがあるものは、袋を縛ってしっかり封をし、「もえるごみ」として出しましょう。みなさまのご協力をお願いします。

家庭で使用した注射器・注射針は、処方された病院や薬局などの医療機関に医療廃棄物として処理を依頼してください!

在宅医療で使用したと思われる注射針が、ペットボトルに入った状態で収集所に出されていることがあります。収集作業員や手選別作業員に使用済みの注射器・注射針が刺さってしまうと、傷口から注射器や注射針に付着した血液を媒介してB型肝炎、C型肝炎やHIV(ヒト免疫不全ウイルス)等に感染するおそれがあり、人命に関わる致命的な事故に発展する可能性があります。注射器・注射針の不適正な排出は絶対に止めてください。



新型コロナウイルス感染症に感染した方やその疑いがある方がいる場合

処理における公衆衛生の確保を最優先とするため、

①びん・かん等の不燃物については、1週間程度待ってから排出してください。

(不燃物の表面に、ウイルスが残存する可能性があるため)

②ペットボトル・食品包装プラスチックについては、もえるごみに入れて排出をしてください。

なお、新型コロナウイルス感染した方やその疑いがある方などがご家庭にいない場合は、通常通り分別収集にご協力ください。

使用済みのマスクやティッシュが道に落ちていませんか？

ポイ捨てごみのない、きれいなまちを目指しましょう。地域の清掃活動は、新型コロナウイルス感染症等に十分注意して!

使用済みのマスクやティッシュ等には、①直接触れない、②捨てる時にはしっかり袋を縛って封をする、③捨てた後は十分な手洗いを心がけましょう。

※清掃活動用ごみ袋の配布、トングの貸出しを行います。ご希望の方は、下記問い合わせ先にお電話でご相談ください。

資源循環政策課(電話番号：048-829-1337 FAX番号：048-829-1991)

「新しい生活様式」を
実践しましょう。



密集回避



密接回避



密閉回避



換気



咳エチケット



手洗い



「新しい生活様式」の詳しい実践例については、厚生労働省HP

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html)でご確認ください。

ものを大切に使う
 ごはんを残さずに食べる
 くりかえし使える商品を選ぶ
 資源になるものは分別して出す——



あたりまえのようだけれど、とても大切なこと。
 特別なことでなくとも、わたしたちの心がけひとつで
 ちょっとだけ未来が良いものになるとしたら。

世界を取り巻く環境問題を考えるとき、
 消費者、事業者、そして行政、
 さまざまな視点からのアプローチが不可欠です。

さいちゃんの環境通信が、
 「ともに取り組み、参加する めぐるまち(循環型都市)さいたま」の実現に向けて、
 わたしたちの行動を変えるきっかけになることを願っています。

企画・発行

さいたま市環境局資源循環推進部廃棄物対策課
 TEL 048-829-1335 FAX 048-829-1991

みなさまからのご意見感想などを
 お待ちしています。
 haikibutsu-taisaku@city.saitama.lg.jp



広告



あらゆるaにお応えします

○立看板・捨て看板○横断幕・懸垂幕○表示プレート○マグネット○電柱幕(高輝度反射)○車両幕○施設内案内表示板
 ○バナー○バリケード(板面付)○樹脂製スタンドサイン(カラーコーン・ガードサイン)○腕章・たすき○ステッカー・
 シール○クリアファイル○のぼり旗・ミニのぼり旗○記者会見用バックパネル○管理番号(通番可)プレート○オリジナル
 ホワイトボード○カウンボード○銘板○販促品・記念品・贈答品○案内標識○公園看板・遊樂場所看板○アルミ標示板
 (Uバンド留め用リブ付)○建槽看板○掲示板○野立看板○各種標示板修繕(表示内容変更・塗装・パネル交換)○式典看板
 (垂れ幕・吊り看板・団体旗)○電照サイン○金属箱文字・切り文字○路面シート○店舗看板一式○ウィンドフィルム加工

株式会社プラス・エー ☎048-878-5505

※当パンフレットの作成費用の一部はこの広告収入によって賄われています。
 ※この環境通信は7,000部作成し、広告収入を差し引いた市の負担は一部あたり、42円です。

